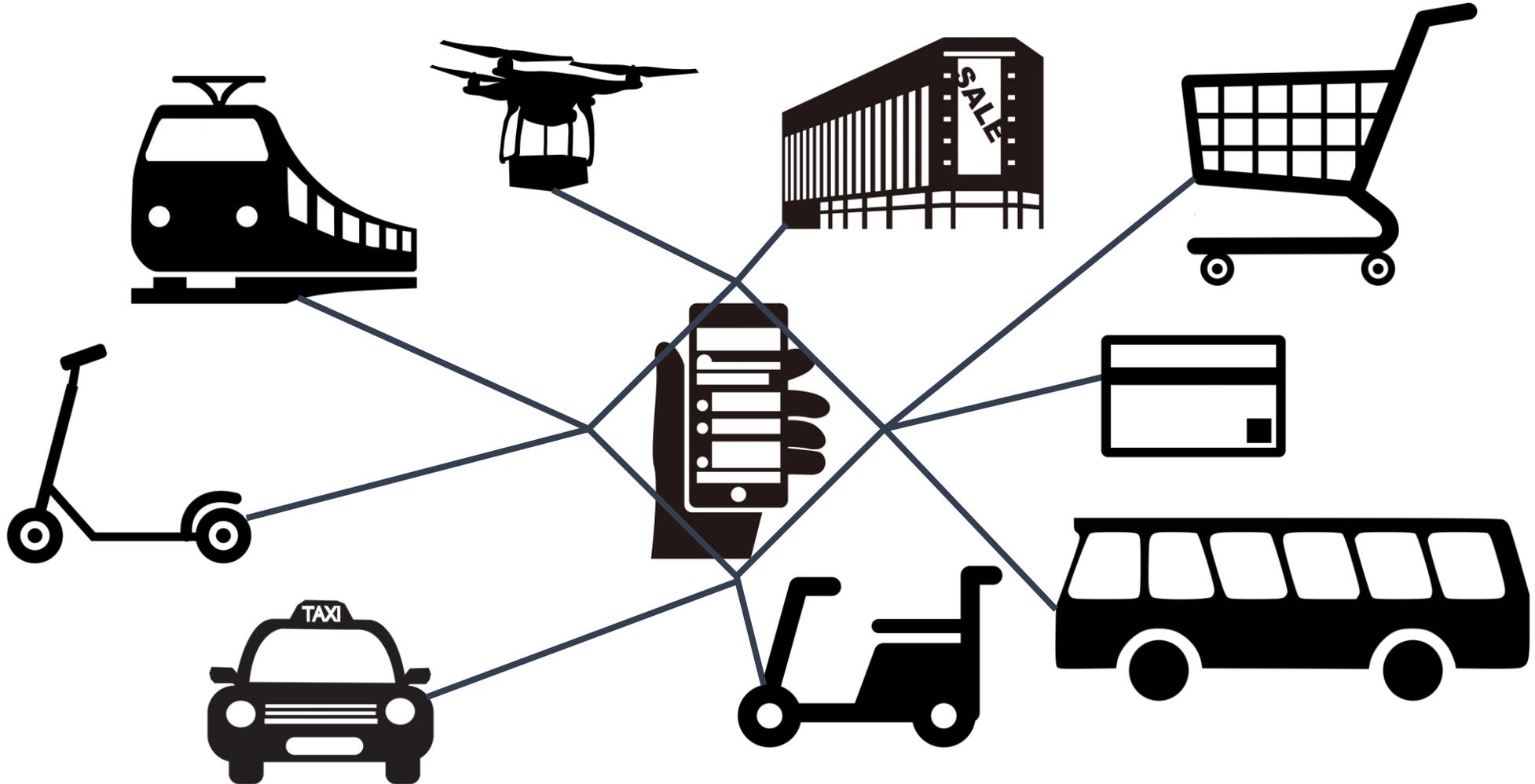


- コンソーシアム設立後、各WGでの取組事例や認識の共有により、活動のベースとなるものが形成されつつある。
- 現在は、意見交換やプロジェクト提案を通じて、アイデアの練り上げや自由な議論を促す段階にある。



- 当面は、会員主導の創発・協業による多様な取組みやサービスモデルの検討を期待。
- 事務局は、会員間の意見交換や全体調整を推進する役割を果たす。



- 各WGの活動と並行し、コンソーシアムとしての短期的、中長期的な目標を設定する必要がある。
- 1つのマイルストーンとなる幕張新都心拡大地区新駅開業に向けて、実サービス化に向けた実証や情報連携を加速化させる。



<サービス拡大フェーズ>

- ◎ 利用可能なモビリティサービス、連携分野の拡大
- ◎ MaaSアプリによりモビリティサービス以外のサービスも利用可能
- ◎ 幕張新都心以外の地域への横展開を検討

<実装フェーズ>

- ◎ 実サービス化に向けたサービス実証を経て、順次モビリティサービスを開始
- ◎ MaaSアプリにより1 I Dで複数のモビリティサービスが利用可能

<実証フェーズ>

◎ パーソナルモビリティ、自動運転等の実証実験、社会的受容性の向上への取り組み など

コンソーシアム
設置

オリパラ
開催

幕張新都心新駅
開業予定



(新駅のイメージ)

JR東日本千葉支社提供

2016年 . . . 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年 2025年